

**行財政・一般**

**ボート事業の利益は  
何に使うのかを明確に!**



村崎 浩史 議員

ボートレース事業の利益は、こども夢基金に積み立てられ、保育料第2子無料化などの子育て支援策に活用されてきたが、同基金の廃止を本定例会に提案している。これまで、同事業の利益は、基本的に子育て・教育に関するハード整備に充てるべきだと私は主張してきたが、今後の活用方法を市長は明確にするべきである。

**答**

ボートレース事業の利益については、地域振興基金及び減債基金に積み立て、新幹線や図書館など今後の大型建設事業の財源とする。子育て施設等に特化したハード整備の財源とはしない。今後は、両基金及び国の有利な財源を活用し、総合的にバランスのとれた財政運営を行いたい。



**行財政・一般**

**投票率UPと交通弱者の  
ための移動式投票所**



田中 博文 議員

全国的に投票率のアップを目指す取り組みが進む中、本市でも期日前投票所の増設等が行われてきた。投票日当日の悪天候が予測されるなどの理由により、利用者も年々増加している。県下では、昨年10月に平戸市で移動式期日前投票所が開設された。本市においても、今後の動向を見守り、導入に向け検討する考えはないのか尋ねる。

**答**

平戸市では、当日投票所の統廃合を実施した投票所について移動投票所とした経緯がある。大村市は、市内30カ所に投票所を設けており、山間部も網羅している。また、投票所を統廃合する予定もない。よって、移動投票所については、今後、市全体で投票所を統廃合する議論が出たときには、検討する必要があると思うが、現時点での検討は時期尚早である。

**行財政・一般**

**新庁舎建設**



村上 信行 議員

新庁舎建設について、平成30年5月までに基本計画を策定し、9月にはプロポーザル方式により基本設計、実施設計の業者を選定するにもかかわらず、平成30年度施政方針において、全く触れなかったのはなぜなのか。また、駐車場については、現庁舎跡地に来庁者用として225台確保する予定であるが、機能集約化により職員駐車場は現在より100台増の600台が必要になると思われるが、どのように考えているのか。

**答**

施政方針に新庁舎建設の件を記載しなかったことについては、私市長の責任であり、記載すべきだったと考えている。また、駐車場については、働く職員のことは大切であるが、来庁者用の駐車場の確保、整備を優先すべきである。職員用の駐車場については、限られたスペースの中、どのように確保できるのか、全体的に検討したい。

**行財政・一般**

**地方創生GMの活動実績  
への評価と今後は?**



村崎 浩史 議員

地方創生ジェネラルマネージャー（以下「GM」という）の2年間の活動実績をどのように評価しているのか。また、平成30年度当初予算には、GMの報酬として840万円が計上されていることから、3年目も契約継続の意向であるが、どのような役割を担わせるのか。議会、市民には、GMの活動が見えにくいので、見えるようにしてほしい。

**答**

地方創生GMの大きな役割は、職員に不足しているスキルや人脈等を補完することであり、これまでの2年間で市のプロモーションの質が変化したと評価している。GMの豊富な経験を生かした助言等で職員も学んできた。

平成30年度は、移住施策の効果的なプロモーション展開など、シティプロモーションの推進に注力してもらう。